

訪日 PCI 視察団一行の Statement

1972年5月6日来日したアメリカプレストレストコンクリートインスティテュート(PCI)の一行19名は2週間の日本滞在を終え20日羽田を飛び立ったが、一行の団長であるPCI会長J.F.ハッセル氏は帰国に際し次のような感想を述べられた。

アメリカPCIの一行は、日本のプレストレストコンクリート技術協会によって計画された日程により2週間の見学旅行を行なった。

アメリカおよびフィリピンの指導的生産者、設計技術者よりなるPCI一行の見学旅行は十分に成功し、おおいに見聞を広めることができた。

この旅行においては東京、京都および大阪におけるプレキャスト工場と、岡山の長大スパンのポストテンション鉄道橋を見学し、また著名なPC鋼材のメーカーを2か所見学したが、それらのメーカーの製品はアメリカの需要をも満たしている。

われわれは、滞在中日本のPC技術者の方々とお会いしたが、非常に興味を感じた。われわれの旅行がお互いの技術および研究のデータを交換することによってお互いの利益となるための道となって開けることを心から希望する。

日本では、輸送関係の面ではプレストレストコンクリートの発展はアメリカよりすぐれている。長いスパンの鉄道橋や道路橋から高速列車のまくらぎに至るまで、はるかにアメリカより進歩している。

われわれは日本の工業において特に品質管理と工場経営の点ですぐれていることを認識した。

日本においては工場、高層事務所、商業用構造物にはごくわずかしかプレキャストプレストレストコンクリートが使われていないが、日本のプレキャストプレストレストコンクリートの将来のマーケットとしてこれらの分野は、おおいに発展の余地があるものとする。

われわれの気持をひとことではいえず、日米両国のPC技術者が率直かつ有益な会談ができるような場をもつようにわれわれを招待し、日程を作ってくれたプレストレストコンクリート技術協会の会長大島博士はじめ会員の方々に深く感謝するとともに、通訳をしていただいた

日本マーチンエンジニアリング社の鳥居社長にもお礼を申し上げたい。

アメリカPCIはイリノイ州シカゴ市にあり営利法人ではない。その会員は世界各地のプレキャストプレストレストコンクリートの指導的生産者、コンクリート工業界の権威者であり、また有数の建築家、技術者などで、その数は1600名を越え、会員会社の生産高は年間10億ドルに近い。

PCIの目的はプレキャストとプレストレストコンクリートの発展にある。

アメリカPCI一行の日本における日程、および来日団員の氏名は次のとおりであった。

日 程	
5月6日	羽田着
7日	東京観光
8日	午前 首都高速道路公園の沈埋トンネルのエレメント製作現場見学 午後 テクニカルミーティング
9日	安藤建設(株)プレハブ工場見学
10日	日光観光
11日	オリエンタルコンクリート(株)多摩工場 および鹿島建設(株)技術研究所見学
12日	京都へ
13日	京都観光
14日	奈良観光
15日	PCパイル製作工場 および日本建築総合試験所見学
16日	ピー・エス・コンクリート(株)伊丹工場、住友電気工業(株)伊丹製作所 および神鋼鋼線工業(株)見学
17日	山陽新幹線吉井川橋梁見学
18日	広島観光後東京へ
19日	テクニカルミーティング
20日	羽田発

団員氏名

- J.F. Hassell, Jr.
Pre-Stress Concrete Co., Inc. Charleston, South Carolina
President, PCI
- Robert Phillips
Featerlite Structural Concrete El Paso, Texas
- Fred Godley
Godley Const. Co. Charlotte, North Carolina
- A.T. Nelson

- Ted Nelson Co. Portland, Oregon
- Charles W. Wilson
Wilson Concrete Co. Red Oak, Iowa
- Guillermo S. Barretto
Philippine Prestressed Concrete Co., Inc. Manila, Philippines
- Jimmie C. Thomas
Thomas Concrete Products Co. Oklahoma City, Oklahoma
- W. Burr Bennett, Jr.
Prestressed Concrete Institute Chicago, Illinois Executive Director, PCI
- John P. Foster
Foster Henry Henry & Thorpe, Inc. El Paso, Texas
- Shizuo Torii
President of Martin Engineering Company's operation in Tokyo

プレストレスト コンクリート構造物耐震設計（英文）予約受付

プレストレスト コンクリート技術協会・耐震設計委員会（委員長 坂 静雄）は 1972 年 FIP の P C 構造物耐震シンポジウムに提出するため上記表題の報告書をまとめました。内容は次の三部からなっております。

（1）設計と規準（34 頁）：橋梁および建築物の耐震設計規準の紹介，P C 橋梁の動的解析例，耐震のための構造例。

（2）日本における研究（29 頁）：過大荷重を受けた P C ばりの挙動，モーメント～曲率関係，地震力をうけたときの継手挙動，高層 P C 建物の動的挙動。

（3）地震時 P C 構造物の挙動に関する経験（8 頁）：P C 橋梁の代表的震害，建物の震害。

多数の図版とともに日本の P C 構造物耐震設計法および研究の現状が紹介されており，有益な資料であります。

ご希望のむきには下記へご予約下さい。

予 価（送料とも） 1 200 円（現金で予約のこと）

予約期間：昭和 47 年 9 月 末 日

配本開始： “ 10 月 15 日頃

申 込 先：〒 104 中央区銀座 2-12-4 銀鹿ビル プレストレスト コンクリート技術協会

工 事 ニ ュ ー ス 提 供 の お 願 い

工事ニュースは，現在どこで，どんな P C 構造物が作られているかを知る上で非常に参考になり，また関心をもって読まれていることは諸兄の知るところですが，編集委員の守備範囲内だけではすべての工事を網羅することはできません。

現場におられる会員諸兄から，是非現在このような工事がここまで進行している，または完成したといったニュースを，簡単な文章と，写真・図面等を添付されたいうで協会誌編集委員会へお寄せ下さいますようお願い致します。特にむづかしい規定はありません。採用の分には薄謝を呈します。

東京都中央区銀座 2 の 12 の 4 銀鹿ビル 3 階 P C 技術協会編集委員会 電話 03 (541) 3595